

平成23年度 那珂中学校学校経営方針

福岡市立那珂中学校
校長 櫻木 陽二

1 学校教育目標

基本的な生活習慣を身に付け、自ら学び、心豊かに逞しく生きる生徒の育成

2 校訓

「究め会い」・・・真理と正義を愛し、自ら学び方を身に付ける生徒を育成する。

「認め合い」・・・自他の人格を尊重し、集団や社会の一員としてよりよい生活を築く生徒を育てる。

「助け合う」・・・個性の伸長を図り、心身の健康に努めるとともに、目標に向かって協力して実行する生徒を育成する。

3 学校経営の基本方針

- (1) 公教育の精神と使命を自覚し、生徒・保護者・地域社会に信頼され・誇れる学校づくりに努めるとともに、個人情報保護に留意し、説明責任が取れる学校体制を目指す。
- (2) 学力の向上と生徒指導の充実という基本に立って、特色ある学校づくりを展開していく。
- (3) 家庭や地域社会、小学校との連携を深め、開かれた学校づくりに努める。
- (4) 新しいふくおかの教育の具現化を図る。(福岡スタンダードの取り組み)

4 めざす学校像、生徒像、教師像

○ めざす学校像

- ①家庭・地域社会から信頼され・誇れる学校
- ②掃除が行きとどいたきれいな学校(教育環境の整備)
- ③生徒が活気に満ちた活動をする学校
- ④一人一人の夢が育ち、正義が通る安全・安心な学校

○ めざす生徒像

- ①基本的な生活習慣を身に付け、あいさつと清掃、時間を守ることができる生徒
『時を守り、場を清め、礼を正す』 『当たり前のことを当たり前』
- ②目標を持って主体的に学習に取り組み、進路を切り開く学力を身に付ける生徒
- ③自他を尊重し、思いやりと感謝の心にあふれた生徒
- ④夢を抱き、その実現に向け、粘り強く挑戦するたくましい体力と精神力を備えた生徒

○ めざす教師像

- ①いつも生徒とともに汗を流すことのできる元気な教師(師弟同行)
- ②生徒を信じ、粘り強く指導を繰り返す、温かさや厳しさのある教師
- ③意欲的、かつ団結して仕事に取り組む教師(組織の大切さ)
- ④全体の奉仕者として、使命を自覚し、その職責の遂行に務める教師(率先垂範)

5 本年度の重点目標

- (1) 基本的な生活習慣の育成に徹底した生徒指導の充実、教師自ら率先垂範
- (2) 基礎・基本の確実な定着と学習指導方法の工夫を図り、確かな学力の定着
- (3) 小・中連携教育の推進
- (4) P T A・家庭・地域及び関係機関との連携
- (5) 生徒会活動と部活動の活性化(コンクール等の実施)

6 本年度の重点課題

- (1) 自己成長する態度を育てる積極的な生徒指導と教育相談の充実に努める。
 - ①教師自ら率先垂範し、師弟同行の徹底。『時を守り、場を清め、礼を正す』
 - ②いじめや不登校、問題行動等の防止に努めるとともに、やまびこ指導を行い、予防の生徒指導を意識する。(報告・連絡・相談の徹底)
 - ③家庭や地域及び関係機関との連携を深めながら、組織的に対応する。
 - ④児童生徒支援加配、不登校対応教員、養護教諭、スクールカウンセラーと連携し生徒の悩みの実態把握と教育相談の充実に努める。
 - ⑤体罰によらないカウンセリングマインドを基本とした指導の徹底を図る。
- (2) 生きる力を育む学力向上の推進に努める。
 - ①基礎・基本の定着を図り、学習意欲を高める工夫をする。
 - ②学習規律の確立を図り、学習効果を高める。
 - ③指導と評価の一体化を目指した研修を推進し、TTや発展的な学習・補充的な学習など、個に応じた指導方法の工夫改善により確かな学力の育成に努める。
 - ④指導力向上のため、授業研究を行い、校内研修の充実に努める。
- (3) 豊かな心を育むために道徳教育の充実に努める。
 - ①楽しい道徳の時間ができるように、資料開発及び指導法の研修を継続する。
 - ②教育計画に基づいた道徳の時間の確保及び計画的な指導の実践に努める。
 - ③副読本「自分を伸ばす」「心のノート」他、「ぬくもり」等を活用する。
 - ④ローテーション授業や指導法の工夫や自作資料の開発を行う。
- (4) 共通理解を基盤に据え、特別支援教育の充実に努める。
 - ①特別支援教育の充実に努め、心身に障がいを持つ生徒に対する理解を深めるとともに、共生と思いやりの気持ちを育成する。
 - ②特別支援教育の全体計画及び特別支援教育に関する研修の推進・充実に努める。
- (5) 人権感覚を高める人権教育の深化に努める。
 - ①生徒の人権感覚を高め、人権に対する感性を育成する。
 - ②教職員の人権教育研修の充実に努める(校外研修への参加)を図る。
 - ③人権読本「ぬくもり」等の人権教育資料の効果的活用を図る。
 - ④差別事象に対する敏感な感性を磨き、差別をなくしていこうとする意志と実践力を育てる人権学習を実施する。
- (6) 新しいふくおかの教育計画の推進に努める。
 - ①福岡スタンダードの推進(あいさつ・掃除、自学、立志)に努める。
 - ②言葉を大切にする教育の推進に努める。
 - ③子ども力を引き出し発揮させる教育の推進に努める。
 - ④小中連携教育の推進に努める。(小中合同研修、出前授業等)
 - ⑤家庭・地域・企業等と連携した教育活動の推進に努める。(職場体験等)
- (7) 家庭・地域及び関係機関との連携を深める。
 - ①本校の自己評価をサポーター会議やPTA運営委員会等で公表する。
 - ②保護者やサポーター会議構成員の学校関係者評価結果等を学校改善に生かす。
 - ③PTAや青少年育成連絡協議会、人権尊重推進協議会、その他の機関と連携を深める。
- (8) 小中連携の推進を図る。
 - ①義務教育9年間を見通し、生活面での決まり事や学習規律での滑らかな接続を図る。
 - ②中学校ブロックでのテーマの明確化や共有化を図る。